

令和6年度

「あやべ観光デジタルフォトコンクール」

総評：綾部の魅力の再発見につながる当フォトコンクールも第24回目を迎えましたが、近年のめざましいカメラの進歩のおかげで、誰にも感動的な瞬間を写真に残すことが出来るようになり表現の幅も広がりました。今年度の応募作品（239点）を拝見すると、さまざまな工夫を重ねながら撮った作品や、瞬発的にシャッターを押して撮れた躍動的な秀作など、すべての作品に綾部の魅力が満ち溢れているように感じました。

中田 昭 （公社）日本写真家協会会員

大賞・綾部市長賞「ほたると天の川」

撮影が難しいひとつひとつ要素（天の川、ほたるなど）を嫌みなく組み合わせ、自然ゆたかな綾部の生活の営みが表現出来たと思います。夜景ですが、美しい階調の画面を見ると、次第に気分が落ち着いてきます。

特選・綾部商工会議所賞「健康に乾杯」

打ち上げ花火の位置、空のクラデーション、川面を流れる灯籠の光の帯。思い通りの写真が撮れた満足感がタイトルにもあらわれています。

特選・綾部市文化協会賞「春の里山の風景」

青空を背景にした満開の桜や水田、通りすぎる列車など、童謡の歌詞が聞こえてくるような画面は見る人を幸せにしてくれます。

特選・京都新聞賞「綾部の夏がやってきた！」

白いワンピースの女性が青空に向かって思いっきり帽子を投げた後ろ姿は、シンプルな画面構成で爽やかな風を運んで来ます。

特選・あやべ市民新聞社賞「春色満開」

レンゲ畑の先に止まる同系色のバスに目線が導かれます。のどかな里山風景のひとつきを写した画面は、豊かな時の流れを感じさせて

くれました。

特選・京都府観光連盟賞「輝く朝焼け」

山の稜線がシルエットとなって画面いっぱい広がる朝焼け空。下部に空の色を映した川面が入ったことで、画面にいつそう広がりが出たと思います。

入選「スポットライト」

一瞬の光に浮かびあがった目の前の風景をタイミング良く捉えた作者の力量を感じさせられました。

入選「ハナウド咲く水生園」

淡く色づいた空を背景に、靄がハナウドの姿を包み込んで、緩やかな遠近感を醸し出せたと思います。

入選「寒さに負けないぞ」

気合いもろともに水を被る少年達。シャッター
スピードを速めて、迫力ある水しぶきを表
現できました。

入選「秋錦の回廊」

散り紅葉を撮る天候や時間帯も計算に入れ、
画面に奥行きもあって熟練度を感じさせる作
品。

入選「つかの間の秋」

晩夏の雲の広がり、それを映した川面、さ
らに右側のススキが季節の移り変わりを予感
させました。

入選「蟹の水浴び場」

時として見逃してしまいそうな寸景で、清流
に遊んだ子供の頃の思い出と重なるような作
品。

入選「上林の夕景」

夕日が沈む寸前を待ちかねるように写した作品で、逆光のススキがポイントとなりました。

入選「雨の日」

水たまりに映し出されるファンタジックな光の中に、ローアングルで親子の姿をタイミング良く捉えています。

入選「新一年生」

新しいランドセルを背負って走り行く後ろ姿に、様々な感慨をこめてシャッターを切られたことでしょう。

入選「夕暮れコスモスの中で」

夕日に浮かびあがったコスモスと少女。撮影の時間帯をよく知り、光の演出効果を充分活かした画面となりました。